

日本規格協会規格（JSA 規格）

「JSA-S1012 次亜塩素酸分子水溶液」

を開発・発行

2022年3月25日
一般財団法人 日本規格協会

日本規格協会は、JSA-S1012『次亜塩素酸分子水溶液』を2022年3月25日に発行いたしました。このJSA規格は、一般社団法人次亜塩素酸化学工業会（HClA）が主体となり、電気分解以外の化学的調製による製造方法によって生成される次亜塩素酸分子水溶液について規定したものです。このJSA規格によって、有効かつ安全な次亜塩素酸分子水溶液の普及を実現し、市場における品質の確保とともに、消費者の保護を実現することに寄与できるものと期待されます。

JSA 規格とは

JSA規格は、一般財団法人日本規格協会（本部：東京都港区、理事長：朝日弘）が発行する民間規格です。2017年6月の制度創設以来、標準化の専門機関である日本規格協会が、様々なステークホルダー（企業、団体、政府機関、学会など）からの多様な規格開発のニーズの相談・提案を受け、提案者の自主的な規格開発の取組みに対し、効率的なプロジェクトマネジメント支援を提供し、透明性・公平性及び客観性を確保したJSA規格を迅速に開発しています。

次亜塩素酸分子水溶液（JSA-S1012）について

次亜塩素酸水は、その製造方法によらず、新型コロナウイルスに対する消毒に有効であることが判明し、ノロウイルスなどのノエンペロープウイルスに対しても、有効性を示す多くの試験結果が発表されています。このため、アルコールなどの代替消毒方法として期待が高まっています。

次亜塩素酸水には、電気分解による“電解型”と、電気分解以外の製法（次亜塩素酸ナトリウムと酸の二液混合、炭酸ガスの付加、イオン交換樹脂による化学反応、粉末を水に溶かしたもの等）で生成された“非電解型”とがありますが、このJSA規格で規定する“非電解型”の次亜塩素酸水（次亜塩素酸分子水溶液）は、遊離有効塩素のうち次亜塩素酸分子（HOCl）が主たる役割を担い、経時安定性能を有することからボトリング（瓶詰）の形で流通しています。このため商品の品質・効果と表示とが乖離した商品が出回ることを防ぐため、次亜塩素酸分子水溶液に求められる性能の統一的な要求事項をJSA規格として明確に定めたものです。

JSA-S1012：2022『次亜塩素酸分子水溶液』（Hypochlorous acid molecular aqueous solution）は、日本規格協会のウェブサイトからご購入いただけます。

JSA 規格の詳細はこちら↓

<https://webdesk.jsa.or.jp/common/W10K0500/index/dev/jsas/>

JSA-S1012 のご購入はこちら↓

https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsyo_id=JSA-S1012%3A2022



お問合せ：一般財団法人日本規格協会 JSA 規格事務局（E-mail：jsastandard@jsa.or.jp）